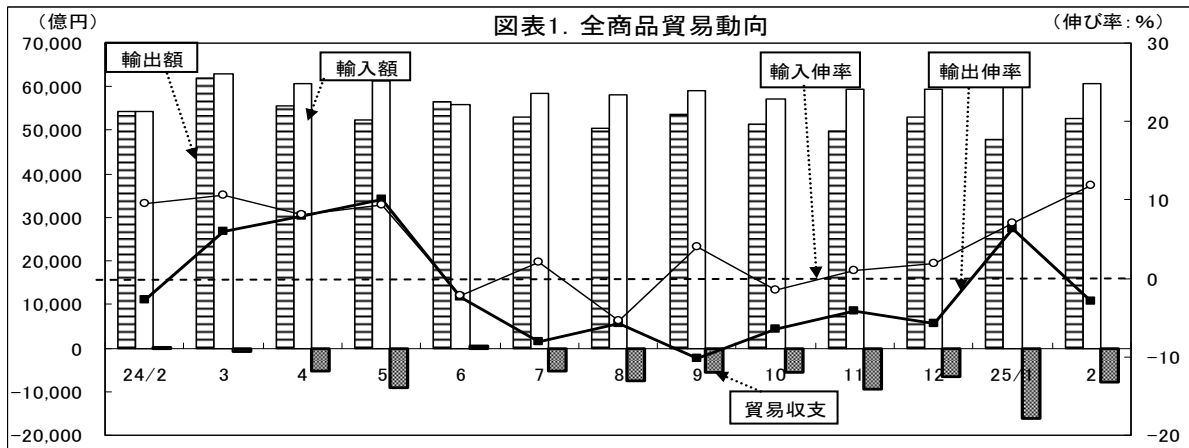


最近の機械貿易動向(2月)～機械輸出は再びマイナスへ～

平成25年2月の機械輸出額は3兆3,727億円、対前年同月比8.0%減と再びマイナスとなった。これは、①北米以外の全ての地域がマイナスになったこと、②機械輸出額の37%を占める自動車の伸びが2.5%減となったこと、③円安で11.6%増となったが、営業日や中華圏の春節のずれで12.8%減になったことなどによる。3月はさらに円安が続き、9.9%の増加要因となるが、営業日が前年より1日少ないことで、為替・営業日は5.1%の増加要因となる。3月の機械輸出額は、仮に2月の実質的伸び(6.8%減)が続くとすれば、前年比1.7%減と予想されるが、貿易統計速報では3月上中旬の全商品の輸出の伸びは1.9%増であった。

1. 全商品貿易動向～輸出は再びマイナス、貿易赤字は2月では最大に～

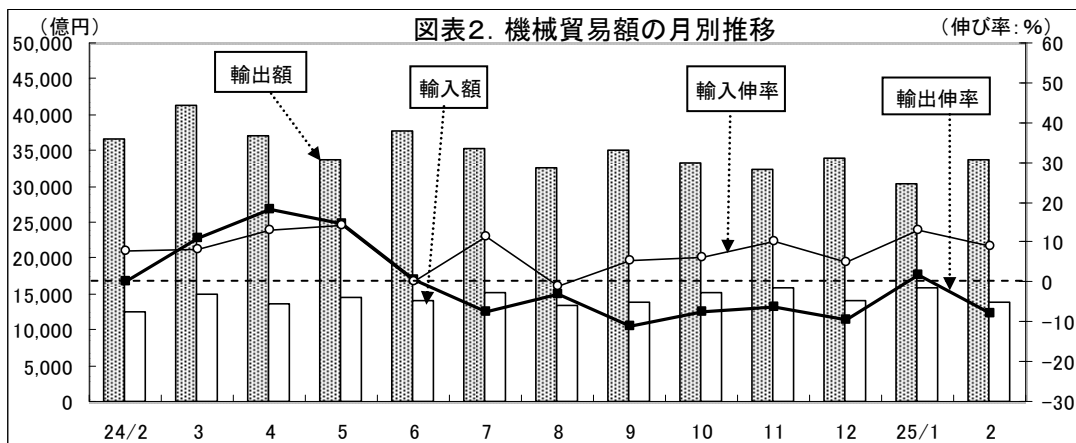
- 平成25年2月の全商品輸出額は**5兆2,831億円**、前年同月比(以下同じ)**2.9%減**と再びマイナスとなった(1月6.4%増)。これは全輸出額の約25%を占める自動車等輸送用機器(3.6%減)、約19%の原動機等一般機械(13.4%減)、約16%の電気機器(7.6%減)等が大幅に減少したことによる。
- 輸入額は**6兆626億円**、**11.9%増**とプラス幅がさらに拡大した(1月7.3%増)。これは、全輸入額の約39%を占める原粗油等鉱物性燃料(12.1%増)、約8%の有機化合物等化学製品(15.7%増)、食料品(12.3%増)が増加したためである。
- この結果、輸出額から輸入額を差し引いた2月の貿易収支は、7,795億円と7月以降8か月連続で貿易赤字となり、2月として1979年以降最大の赤字となった。



2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～機械輸出は再びマイナスへ、輸入は6ヶ月連続増加～

- 全商品輸出額の約64%を占める2月の機械輸出額は**3兆3,727億円**、**8.0%減**と再びマイナスとなった(1月1.7%増)。輸出額の水準は、リーマンショック前(平成20年1月)と比べると、**71.1%**と前月に比べ1.7ポイント回復した(1月69.4%)。
- 一方、全商品輸入額の約23%を占める機械輸入額は、**1兆3,736億円**、**9.0%増**と増加幅が減少したもの(1月13.1%増)、6ヶ月連続の増加となった。輸入額の水準は、リーマンショック以前の**92.9%**と前月に比べ、0.8ポイント改善した(1月92.1%)。

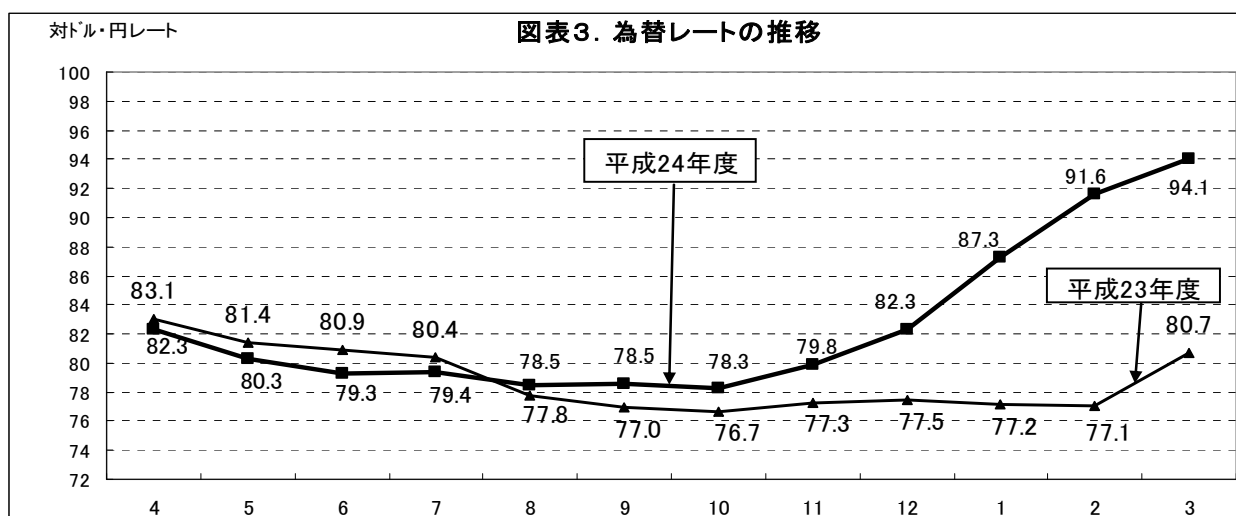


(2) 為替動向・営業日～2月は大幅な為替増加要因も営業日で全体1.2%の減少～

1) 2月は1ドル=91.6円と円安がさらに進み、前年に比べ**18.8%の円安**となった。また、対ユーロも123.4円と前年に対して**22.4%と円安**が進展し、合わせて**11.6%の為替増加要因**となった。営業日は実働日が2日少なく、**9.5%の減少要因**となることに加え、中華圏向けは**春節**が2月にずれたことによって**3.3%が更に減少要因**となり、合わせて**1.2%の減少要因**となる。2月の輸出額は8%減であったことから、**実質的伸び率は6.8%減**とマイナス幅は縮小した(1月14%減)。

2) 3月は1ドル=94.1円と円安となり、前年に比べ**16.6%の円安**となった。また、対ユーロでは123.4円で前年に対し**15.6%と円安**となり、合わせて**約9.9%の為替増加要因**となった。営業日が1日少ないこと(**4.8%減**)と合わせると**5.1%の増加要因**となる。

3) 4月は、対ドルが現状の99円とすれば、前年に比べて**20.3%の円安**、また、対ユーロも128円と**18.1%の円安**となり、合わせると**約12%の為替増加要因**となる。営業日は1日多いので**5.0%増**、合計**17%の増加要因**となる。



(3) 地域別動向～北米のみがプラスとなり、それ以外の全ての地域でマイナス～

1) 機械輸出額が減少したのは、①機械輸出額の14%を占める**中国向け**が自動車(33.4%減)、産業機械(28.2%減)をはじめ、電子デバイス(19.7%減)、民生用電子機械(29.5%減)、工作機械(33.5%減)がマイナスとなり、**24.6%減**とマイナスとなったこと、②11%を占める**EU向け**は、自動車(18.2%減)、産業機械(16.3%減)、デジカメ(37.8%減)が大幅にマイナスとなり、**13.0%減**となったこと、③27%を占める最大輸出先の**NIES/ASEAN向け**は、香港(18.3%減)、シンガポール(14.6%減)、フィリピン(13.8%減)が大幅減となり、業種では、産業機械、電子デバイス等がマイナスとなって**8.9%減**となったこと、④23%を占める**その他地域向け**では、中南米(13.0%減)、中近東(6.0%減)等がマイナスとなり、機種では、輸出額の約50%を占める船舶(8.1%増)がプラスとなる一方、産業機械(24.3%減)、建設機械(22.4%減)が減少となって**2.5%の減少**となったことによる。

2) 他方①機械輸出額の26%を占める**北米向け**は、自動車は微増であったが、産業機械(3.9%増)、重電機機械(7.8%増)、白物家電(70.4%増)が増加し、**2.8%増**となった。

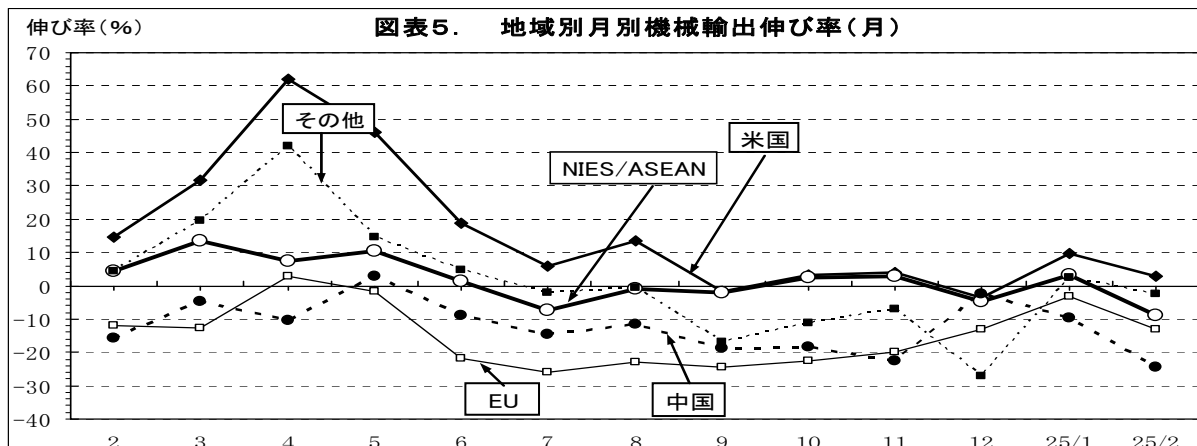
3) また、リーマンショック前の平成20年2月の地域別輸出額と比較すると、水準を超えた地域はなく、中国が82%、北米が79%、NIES/ASEANが77%、その他地域が71%、EUが45%と低い水準となった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位:億円)

	2012/12			2013/1			2013/2			対08年 2月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	34,003	▲ 9.3	112	30,343	1.7	100	33,727	▲ 8.0	100	0.71
北米	8,528	▲ 3.7	28.1	7,231	9.6	23.8	8,666	2.8	25.7	0.79
EU	3,765	▲ 13.2	12.4	3,561	▲ 3.1	11.7	3,663	▲ 13.0	10.9	0.45
NIES/ASEAN	9,859	▲ 4.7	32.5	8,394	3.1	27.7	9,084	▲ 8.9	26.9	0.77
中国	6,610	▲ 2.3	21.8	4,114	▲ 9.7	13.6	4,692	▲ 24.6	13.9	0.82
その他	5,242	▲ 27.2	17.3	7,043	2.6	23.2	7,622	▲ 2.5	22.6	0.71

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。



図表6. NIES/ASEAN・その他地域向け機械輸出の推移(月別) (金額単位:億円)

国名	2012/11		2012/12		2013/1		2013/2	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,567	▲ 4.6	1,682	▲ 15.7	1,516	▲ 5.5	1,668	▲ 8.4
台湾	1,383	▲ 11.4	1,640	0.5	1,399	23.8	1,432	▲ 7.8
香港	1,553	18.3	1,379	▲ 8.5	1,188	0.9	1,097	▲ 18.3
タイ	1,884	56.4	1,955	35.3	1,626	20.5	1,796	▲ 5.0
シンガポール	697	▲ 23.1	717	▲ 26.9	694	▲ 3.9	648	▲ 14.6
インドネシア	760	▲ 19.4	794	▲ 20.5	682	▲ 11.1	872	▲ 1.8
マレーシア	621	▲ 12.0	736	0.1	535	▲ 12.8	690	▲ 8.0
フィリピン	500	2.8	491	▲ 16.3	430	▲ 8.9	475	▲ 13.8
ベトナム	360	22.3	382	1.9	264	19.1	304	▲ 6.6
その他地域								
中南米	2,008	▲ 18.0	1,900	▲ 5.8	2,571	3.9	2,057	▲ 13.0
中近東	1,470	23.4	1,546	12.1	1,254	3.1	1,550	▲ 6.0
大洋州	1,116	4.7	1,106	▲ 9.9	939	▲ 16.2	1,195	▲ 0.6
ロシア東欧等	995	▲ 7.8	979	▲ 5.3	1,178	29.0	1,361	5.3
アフリカ	460	▲ 28.1	580	▲ 28.9	675	12.8	950	50.1
インド	400	▲ 10.3	453	▲ 17.8	367	▲ 3.4	387	▲ 20.8

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4)業種別動向～19業種のうち15業種がマイナス、自動車も再びマイナスへ～

1)業種別では、全19業種中マイナスとなったのが、15業種と6業種増加した(1月9業種)。全体の約37%を占める自動車も再びマイナスとなり(2.5%減)、産業機械(16.3%減)も20ヶ月連続マイナスとなり、電子デバイス、民生用電子機械、建設機械、運搬機械、工作機械、陸用内燃機関、産業車両が二桁のマイナスとなった。プラスとなったのは、医療機械(17.2%増)、繊維機械(12.5%増)、農業機械(8.2%増)、電子計算機(4.8%増)であった。

2)この結果、リーマンショック前の水準を超えているのは医療機械の1業種のみで、他方、電子計算機、民生用電子機械、通信機械、産業車両は、40%台の低い水準に留まっている。

図表7 上位19業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

機種名	2012/12			シエア	2013/1			シエア	2013/2			対08/1比
	金額	伸び率	シエア		機種名	金額	伸び率		シエア	機種名	金額	
自動車	11,593	▲ 6.2	34.1	自動車	10,405	6.7	34.3	自動車	12,388	▲ 2.5	36.7	0.72
産業機械	5,994	▲ 12.1	17.6	産業機械	4,887	▲ 0.4	16.1	産業機械	5,564	▲ 16.3	16.5	0.74
電子デバイス	2,786	▲ 4.5	8.2	電子デバイス	2,361	1.3	7.8	電子デバイス	2,455	▲ 9.8	7.3	0.66
船舶	886	▲ 37.4	2.6	船舶	2,294	▲ 7.1	7.6	船舶	1,513	▲ 6.7	4.5	0.84
軽電気機械	1,797	▲ 13.5	5.3	軽電気機械	1,487	4.7	4.9	軽電気機械	1,699	▲ 0.6	5.0	0.70
民生用電子機械	1,421	▲ 1.5	4.2	民生用電子機械	1,187	▲ 6.7	3.9	民生用電子機械	1,229	▲ 20.1	3.6	0.43
重電気機械	1,775	▲ 4.4	5.2	重電気機械	1,372	1.7	4.5	重電気機械	1,588	▲ 8.9	4.7	0.78
軽機械	1,344	▲ 7.9	4.0	軽機械	1,089	7.1	3.6	軽機械	1,217	▲ 4.3	3.6	0.71
光学機械	1,324	1.5	3.9	光学機械	1,082	9.6	3.6	光学機械	1,131	▲ 3.4	3.4	0.95
建設機械	922	▲ 31.9	2.7	建設機械	658	▲ 37.1	2.2	建設機械	920	▲ 25.9	2.7	0.63
工作機械	805	▲ 16.2	2.4	工作機械	638	▲ 2.9	2.1	工作機械	675	▲ 27.8	2.0	0.80
通信機械	438	▲ 6.2	1.3	通信機械	364	▲ 7.0	1.2	通信機械	415	▲ 8.9	1.2	0.48
電子計算機	444	▲ 1.6	1.3	電子計算機	371	7.2	1.2	電子計算機	438	4.8	1.3	0.41
ベアリング	325	▲ 16.3	1.0	ベアリング	274	▲ 4.2	0.9	ベアリング	321	▲ 6.9	1.0	0.90
陸用内燃機関	330	▲ 22.0	1.0	陸用内燃機関	273	▲ 7.6	0.9	陸用内燃機関	313	▲ 19.1	0.9	0.74
医療機械	343	1.9	1.0	医療機械	287	28.3	0.9	医療機械	346	17.2	1.0	1.31
繊維機械	150	▲ 13.6	0.4	繊維機械	126	6.6	0.4	繊維機械	201	12.5	0.6	0.66
農業機械	141	▲ 10.5	0.4	農業機械	128	9.2	0.4	農業機械	160	8.2	0.5	0.64
産業車両	116	▲ 14.2	0.3	産業車両	93	▲ 6.9	0.3	産業車両	110	▲ 16.5	0.3	0.48
19業種合計	32,934		96.9	19業種合計	29,376		96.8	19業種合計	32,683		96.9	0.70

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。*民生用電子機械:デジカメ、TV、部品。電子計算機:パソコン、HDD、プリンター等部品。

軽電気機械:白物家電、電子計測器。軽機械:分析器。光学機械:光学材料、カラ。

(5) 機種別動向～医療機械、運搬機械が大幅増加、デジカメ・ビデオは大幅減～

1) 10%以上の伸び率を示した機種は、①EU、北米、NIES/ASEAN 向け**医療機械** (17.2%増)、②NIES/ASEAN、その他地域、北米向け**運搬機械** (16.4%増)、③北米、その他地域、EU 向け**電池** (12.6%増)、④NIES/ASEAN、その他地域向け**繊維機械** (12.5%)であった。

2) 一方、最も落込み幅が大きいのが、電子応用装置 (45.2%減)、デジカメ・ビデオ (39.6%減)、半導体製造装置 (37.3%減)、発電機 (30.9%減)、工作機械 (27.8%減)、建設機械 (25.9%減)、時計 (24.5%減)、磁気カード・ディスク等 (24.3%減)、陸用内燃機関 (19.1%減)、録画・再生機器 (19.0%減)であった。

図表8. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位: 億円)

2012/12			2013/1			2013/2		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
運搬機械	241	10.6	原動力機械	427	43.4	医療機械	346	17.2
TV	84	10.4	医療機械	287	28.3	運搬機械	239	16.4
機種合計	325	1.0%	電池	146	17.4	電池	168	12.6
			自動車部品	3,416	15.8	繊維機械	201	12.5
			風水力機械	553	15.3	機種合計	954	2.8%
			発電機	102	14.2			
			運搬機械	189	10.4			
			時計	64	10.2			
			機種合計	5,184	17.1%			

は、2ヶ月連続で上位機種・機種合計の%は輸出額に占める割合

図表9. マイナス伸び率上位機種(月3億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位: 億円)

2012/12			2013/1			2013/2		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
録画・再生機器	8	▲ 45.9	建設機械	658	▲ 37.1	電子応用装置	35	▲ 45.2
電池	183	▲ 43.7	半導体製造装置	719	▲ 34.1	デジカメ・ビデオ	322	▲ 39.6
エアコン	6	▲ 43.0	録画・再生機器	7	▲ 33.4	半導体製造装置	858	▲ 37.3
船舶	886	▲ 37.4	エアコン	6	▲ 29.9	発電機	82	▲ 30.9
建設機械	922	▲ 31.9	デジカメ・ビデオ	343	▲ 23.4	工作機械	675	▲ 27.8
半導体製造装置	966	▲ 30.8	産業用ロボット	69	▲ 17.1	建設機械	920	▲ 25.9
磁気カード・ディスク等	135	▲ 23.8	機種合計	1,802	5.9%	時計	65	▲ 24.5
陸用内燃機関	330	▲ 22.0				磁気カード・ディスク等	130	▲ 24.3
風水力機械	637	▲ 19.7				陸用内燃機関	313	▲ 19.1
ペーシング	325	▲ 16.3				録画・再生機器	13	▲ 19.0
機種合計	4,398	12.9%				機種合計	3,413	10.1%

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内

(6) 機械輸入動向～電子計算機、携帯電話、電子デバイスが大幅増、乗用車、TVが大幅減～

1) 2月の機械輸入伸び率は9.0%増と6ヶ月連続で増加となった。その要因は、二大輸入機種である電子計算機 (4.5%増)と電子デバイス (16.0%増)に加え、携帯電話 (47.4%増)、自動車部品 (12.9%増)、医療機械 (16.8%増)、白物家電 (13.8%増)、分析・試験・検査機 (16.3%増)、光学機械 (10.7%増)、風水力機械 (11.4%増)の2桁増が大きく影響したためである。他方、大幅な減少と鳴ったのは乗用車 (16.0%減)、TV (13.1%減)であった。

2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は、電子計算機、携帯電話、白物家電、医療機械、TV、時計、ラジオ、録画・再生機器となっている。

3) 地域別機械輸入額は、中国 (16.0%増)、北米 (7.2%増)、ASEAN (6.7%増)、韓国・台湾 (1.5%増)、EU (1.8%減)の順となっている。

図表10. 機械輸入額上位12機種 (単位: 億円、%)

2012/12				2013/1				2013/2			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子計算機	1,713	5.3	12.2	電子計算機	1,936	29.4	12.3	電子計算機	1,701	4.5	12.4
電子デバイス	1,528	10.5	10.8	電子デバイス	1,631	19.4	10.3	電子デバイス	1,482	16.0	10.8
携帯電話	898	2.6	6.4	携帯電話	1,356	57.4	8.6	携帯電話	1,107	47.4	8.1
乗用車	757	12.1	5.4	乗用車	815	32.3	5.2	自動車部品	660	12.9	4.8
自動車部品	637	1.9	4.5	自動車部品	750	7.8	4.7	医療機械	542	16.8	3.9
白物家電	508	7.2	3.6	白物家電	565	10.5	3.6	乗用車	529	▲ 16.0	3.9
医療機械	503	18.8	3.6	医療機械	534	24.7	3.4	白物家電	443	13.8	3.2
光学機械	320	14.7	2.3	光学機械	330	▲ 2.2	2.1	分析・試験・検査機	352	16.3	2.6
分析・試験・検査機	281	6.1	2.0	民生用電子部品	298	▲ 0.9	1.9	光学機械	292	10.7	2.1
TV	261	▲ 31.1	1.9	分析・試験・検査機	284	9.1	1.8	民生用電子部品	257	0.9	1.9
民生用電子部品	240	▲ 17.1	1.7	風水力機械	221	▲ 3.2	1.4	風水力機械	203	11.4	1.5
時計	210	0.3	1.5	TV	216	▲ 24.3	1.4	TV	196	▲ 13.1	1.4
12機種合計	7,856		55.8	12機種合計	8,936		56.5	12機種合計	7,764		56.5

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。白物家電: 民生用電気機械